

# たしな

議会だより

No.35

平成25年8月12日

【題字】中村 芙歌 さん

第2回定例会の概要・市政報告

2 ページ

第1回臨時議会内容

3 ページ

一般質問

4～9 ページ

常任委員会審査・調査

10～11 ページ

市民との意見交換会報告

12 ページ

24年度政務活動費報告

13 ページ

議会活動の動き

14 ページ

プール遊び ついじ保育園プール

平成25年 6月11日～6月27日

# 第二回定例会概要

本定例会は17日間にわたって開催され、市長の市政報告に続き、平成25年度補正予算4件、条例改正3件、条例の制定1件、市道路線の認定1件と報告3件が提案された。また最終日に報告3件と議員提案による発議1件が追加提案され、慎重審議の結果全議案が全会一致で可決された。

## 審議された主な議案と内容

### 1 一般会計補正予算

1億3,400万円を追加し総額を145億1,100万円とするもので、主なものは、コミュニティ助成事業の採択件数の増加。こころとことばの相談室ルームの改修と専門職員の委託料。日の出保育園のフェンス交換工事費。中条中央病院への第二次救急医療運営費補助金。JA中条町が導入する穀粒判別機への補助金。飲食店組合・菓子組合が共同で実施する米粉スタンプラリー事業補助金。大長谷地区の防災拠点避難施設工事費などである。

### 2 国民健康保険事業特別会計補正予算

### 3 介護保険事業特別会計補正予算

### 4 簡易水道事業特別会計補正予算

### 5 市職員の給与に関する条例の一部改正

### 6 ひとり親家庭の医療費助成に関する条例の一部改正

### 7 老人医療費助成に関する条例の一部改正

### 8 農集住宅等の譲渡に関する条例の制定

### 9 市道路線の認定

### 10 報告案件(6件)

・本庁舎耐震改修事業など平成24年度予算繰越明許費計算書。

・平成25年度下越土地開発公社事業計画、収支予算書。

・平成24年度(株)胎内リゾート事業報告並びに決算書。

・平成24年度新潟製粉(株)事業報告並びに決算書。

・平成24年度新潟フルーツパーク(株)事業報告並びに決算書。

・平成24年度胎内高原ハウス(株)事業報告並びに決算書。

### 11 議員発議

日本政府に核兵器全面禁止のため  
の決断と行動を求める意見書。



中条すこやかこども園 工事現場 (旧本条小跡地)

## 市政報告 要旨

### 中条地区保育園・幼稚園統合施設(中条すこやかこども園)の整備について

去る4月26日の臨時議会において、建築本体、電気設備、空調設

備、衛生設備の契約議案を議決いただき現在すべて着工している。

特定健康審査等実施計画(25年度から29年度)について

メタボリックシンドロームに着目し、糖尿病等の生活習慣病の発症や重症化を予防することにより、将来的な医療費の適正化を目的として実施する。

民間事業者による太陽光、風力発電への取組みについて

関沢(通称・嘉平山)のメガソーラーは最大2メガ(2,000kw)で電力量としては一般家庭600世帯分に相当するもので、地元集落への説明会が行われた。また高野工業団地と羽越本線間の横道地内の民有地に最大3メガワットの建設申し出があり、地元集落等への説明会を経て事業が進められる予定である。

胎内風力開発(株)による風力発電事業についても、工事再開ができる環境が整い、4月26日笹口浜地区工業団地に変電施設を設けるべく売買契約が締結された。来年4月の本格稼働を目指し、笹口浜から村松浜までの間に10基の風力発電建設工事が進められている。

# 第二回臨時議会

平成25年4月26日

臨時議会は4月26日、一日限りで開催され、承認案件2件、補正予算、条例廃止、財産の無償譲渡各1件、工事契約の締結2件、報告案件1件が審議され全議案とも全会一致で可決された。



## 審議された主な議案と内容

### 1. 一般会計補正予算

深刻な被害が広がっている海岸部から内陸部の松くい虫被害木の伐倒、薫蒸処理を行うため、松くい虫防除事業委託料4千万円を増額。

### 2. 財産の無償譲渡について

新潟イリノイ友好会館を学校法人大彦学園(新潟市)に譲渡する。譲渡の目的は平成26年4月1日開校予定の全日制私立高校(開志国際高等学校)の校舎として使用するため。譲渡の条件として、高校設立の認可が得られなかったときは、胎内市に無償で返還する。

### 3. 工事請負契約の締結について

\*市役所本庁舎耐震補強工事 3億660万円  
\*小野組・佐藤建材特定共同企業体と契約。  
\*中条すこやかこども園建設工事 5億7,225万円  
\*小野組・小野工務店特定共同企業体と契約。

## 主な質疑

**質問** 友好会館をなぜ、無償譲渡なのか。

**答弁** 県の補助金を受けて建設、築23年で残存価格3億3千万円残って

おり、目的外使用(教育関係以外)すると返還せざる得ないこともあり、残り24年間の維持管理費と解体費で1〜2億円かかることから無償譲渡が適当と判断した。

**質問** あの施設をつくる段階で旧中条町の起債残高はないのか。

**答弁** ほとんど寄付金で賄われており起債は無い。

**質問** 友好会館2階部分にある図書室には膨大な図書等の財産があるはずだが。

**答弁** 3億3千万円は建物であり、付属設備品はすでに耐用年数を過ぎており残存価ゼロであるが使えるものは使っていく。

**質問** 地域住民への説明会は。

**答弁** つくし町、長橋、つつじが丘の周辺3集落だけやらせて頂いた、おおむね反対は無かったが、以前にあったゴミや騒音問題を気にされており、今後学校誘致ができた段階で、市・学校・地域で連絡協議会を立ち上げ、ともに学校を盛り上げて行きたい。

## 日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書

広島、長崎の惨禍を経験した日本にとって、核兵器の非人道性を世界に訴え、速やかな廃絶に力を尽くすことは国民の強い願いである。

ところが、核不拡散条約再検討会議の第2回準備委員会で、日本政府は核兵器の使用を認めたと受けとめられても仕方のない大意を示した。それは核兵器の不使用を主張した共同声明への署名を拒否したからである。核拡散を阻止する根本的な手だてが核兵器の全面禁止であり、廃絶である。北朝鮮の核保有は日本及びアジアの平和を脅かすものであり、断じて許されるものではない。核抑止力論ではなく、核兵器の廃絶こそ主張すべきである。

非核平和都市宣言を行っている胎内市の議員として、意見書を提出する。

提出先  
内閣総理大臣 安倍晋三様  
総務大臣 新藤義孝様  
外務大臣 岸田文雄様



# 開志国際高等学校 設立について



八幡行雄 議員

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。



国内外から注目される  
秋田国際教養大学(未来の開志高校)



学校生活はすべて英語で

**議員** 現に、米ミネソタ州立秋田校の校舎跡地に平成15年に設立、開校8年で就職100%、英語で授業、海外留学、24時間図書館開館で、地方の秋田で国際教養大学がすばらしい成果をあげ、国内外から注目されている。来春、開校予定の高校「世界を見据えた、生徒一人ひとりの人間力育成を目指す」という、開志国際高等学校の受け入れに市長の最も心を動かされたものは何か。

**市長** 「志を持って未来を切り開き、地域社会・国家・国際社会のリーダーとなる人間育成」という教育目標を掲げた学校づくりが、県・市の教育推進方針と合致し、必要とされる人材の育成に寄与すると考える点

が最も心を動かされた。  
**議員** 施設は無償提供とのことであるが、現状提供なのか。  
**市長** 現状のまま建物、工作物及び備品等を引き渡す予定。

**議員** 国内外から人が入り、学校を開校することは地元の方々の理解や応援が必要とされる。地元の反応は。  
**市長** これまで住民説明会4回開催、出席者延べ100人程度、今後

も続けたい。今までの説明会での指摘内容は、過去の大学時代の環境問題、夜間の騒音、ゴミ問題、風紀の荒れ等だった。市及び学校法人大彦学園

では、ご意見、ご指摘を真剣に受け止め、地域と学校法人大彦学園との三者で問題を解決する協議会を設立、具体的な対応策を協議し、解決、

理解を戴き、平成26年4月開校を目標に努力していきたい。

**議員** 胎内市のロコモ対策は。  
**市長** 市が取り組む介護予防として、元気な高齢者を対象とする第一次予防事業と基本チェックリストから機能低下の高齢者を対象とした二次予防事業に分けて実施している。

**議員** 胎内市の介護保険料の推移  
\* 胎内市の介護保険料の推移  
\* 荒川マリーナへの胎内市の関わり



開志国際高校校舎予定地

## ロコモティブシンドローム (運動器症候群)について

**議員** 自立して健康に暮らせる年数を「健康寿命」という、胎内市の健康寿命は何歳か。  
**市長** 人口が少なく、数値に信頼性が低く、算出が不可能。

**議員** 胎内市のロコモ対策は。  
**市長** 市が取り組む介護予防として、元気な高齢者を対象とする第一次予防事業と基本チェックリストから機能低下の高齢者を対象とした二次予防事業に分けて実施している。

### 【その他の質問】

\* 胎内市の介護保険料の推移  
\* 荒川マリーナへの胎内市の関わり



丸山孝博 議員

# 幼保連携型 こども園の概要は

**議員** この施設では、幼稚園児と保育園児が同じクラスとなるサービ  
ス、合体したサービスとしている  
が、具体的にどのようなカリキュラ  
ムなのか。

**市長** 幼児教育と保育指針に大き  
な相違はない。園児は殆ど戸惑い  
なく、新しい園で親しんでくれる  
と思う。

**議員** 初めての施設であり、保護  
者、職員に対する丁寧な説明を早急  
に行うべきでは。

**市長** 今後、具体的な内容の説明会  
等を開催したいと考えている。

**議員** いつ頃を予定しているのか。  
**健康福祉課長** 8月から9月あたり  
を考えている。

**議員** このこども園には、保護者が  
働いている、いないに関わらず受け  
入れるということでしょうか。

**健康福祉課長** 通園させることがで  
きる。

**議員** 受け入れ時間について、保育  
園では7時30分から19時までの中  
で、保護者のニーズに合わせて細か  
くされていたが、こども園もそうあ  
るべきかどうか。

**健康福祉課長** そのような内容で、  
これからも継続していく。

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。



中条すこやかこども園 完成イメージ

**議員** 送迎バスの考え方はどうか。  
**健康福祉課長** 保護者の要望に沿っ  
て対応したい。

**議員** 保育料の考え方はどうか。  
**健康福祉課長** 所得に応じた応能に  
基づいた保育料で調整中である。

## 商店版リフォーム

### 助成の創設を

**議員** 商店街の活性化のためにも創  
設したらどうか。

**市長** 十分検討する。

## 体育・文化施設の

### 一部委託はなぜか

**議員** 委託のあり方が不透明であ  
り、改善すべきではないか。

**市長** 多様化するニーズに対応すべ  
く、効率かつ効果的な運営を行う。



産業文化会館

# 財政について



高橋政実 議員

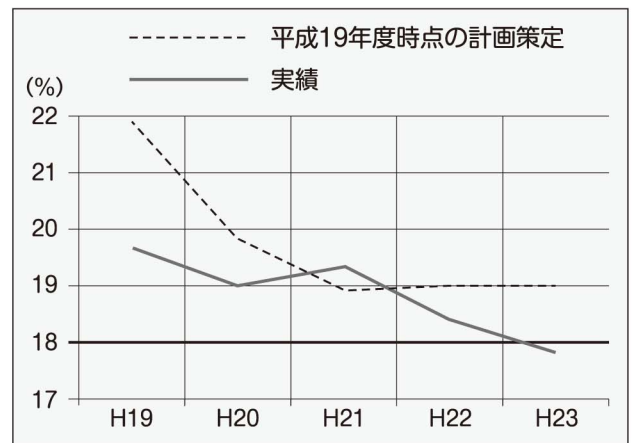
質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。

**議員** 実質公債費比率は、計画より2年前倒しで18%未満を達成出来た。当面の事業によっても、再び18%を超えることはないのか、また、今後も18%未満をベースに財政計画を立てるのか。

**市長** 現在予定されている大規模事業の新市建設計画登録事業に係る起債借入れは、主に交付税措置の大きな合併特例債を予定しており、実質公債費比率にも考慮している。H24年度決算整理後、財政健全化計画の見直しを行う。今後7年間公共事業の起債を計画的に行い18%は超えないと考えている。

**議員** 経常収支比率の数字から見ると、財政は弾力性に欠ける状況であり、しかも自主財源40%、依存財源60%の財政体質の中、財政健全化をどう考えているのか。

**市長** 経常収支比率が高い水準であることは認識している。胎内リゾート関係・農畜産物施設の見直し等経費削減を図り、めり張りを付けた予算配分を行ってきた。市民ニーズにも柔軟に対応できる財政体質を目指す。



順調に推移している実質公債比率

## 松くい虫対策

**議員** 今後松林の再生に多くの予算を期待しているが、植林後は、下草刈り・松葉かき・間伐・下枝おろしなどをしながら育ててはならない。その為には地元の力が必要であり、松林再生のためのグループ作りを指導する考えは。

**市長** 松くい虫被害を最小限に抑えるため伐倒くん蒸・ヘリコプター散布など防除を行って来たが収束に至っていない。H25年度は事業費



つじい小学校植栽風景

1億2,150万円、処理本数1万3,700本の見込み。今後は、伐倒くん蒸・防除・樹幹注入を実施。再生植林の準備が整った場所から植林を行う。組織作りについては関係集落と協議を行う。

## 西口開発について

**議員** 最終的に橋上化であっても、前倒しで簡易的に西口からの乗り降りは考えているのか。

**市長** 合併特例債を活用し事業を実施する計画である。JR東日本と跨線橋による自由通路と組み合わせた高架駅舎を基本線で協議している。西口からの乗り降りについては、安全上前倒しは出来ない。

### 【その他の質問】

\*イリノイ関係について



松浦富士夫 議員

# 緑黄色野菜の 摂取運動を



トレーニング教室

**議員** 血管年齢の若返りを図り、脳卒中や心筋梗塞の抑制効果があり、医療費軽減にもつながる、緑黄色野菜の摂取運動に取り組み考えは。

**市長** 市では、パパママ学級、保健食講習会や健康体操教室等で、野菜の適量摂取について管理栄養士や保健師が指導している。毎日両手3杯分の野菜をとり、その3分の1は、緑黄色野菜をとるよう実践的な指導を行っている。

質問・答弁の内容 文体は本人の草稿によるものです。

**市長** H24年度末で、要支援1・2の認定者は317名。市の負担は現段階では難しいが、介護予防給付費の決算見込額をベースに、国・県・市の公費負担割合の概算額で試算すると、市の負担は2,250万円。H26年度中に策定する第6期介護保険事業計画の中に当該事業を取り入

## 介護支援について



特別養護老人ホーム 浴室

**議員** 5月に厚生労働省が、介護保険の要支援1・2を分離し、市町村サービス提供を検討する考えを示した。仮に市の事業になった場合、市内に要支援1・2に該当する方は何名か。市の負担はどの位になると試算しているか、また、市は、現状と同等のサービス提供が維持できるか。

## 地域振興について

れ、支援が必要な高齢者を支える地域づくりに取り組んでいく。

**議員** 高齢者が増加している地域では民生委員などの見守りがあるが、高齢者のひとり暮らし世帯などを守るには、地域の方々や地域包括支援センター等の連携が重要と思う。民生委員の責務は、多種多様になっている。地域の安心・安全を守るには、民生委員の配置が重要と思うが。

**市長** 制度の再構築に向け国に要望している。今年度市の民生委員の定員を若干増やすことを、県と協議していく。今後は、自助や共助の力も補完しなければ、課題解決はおぼつかないと思う。



# ピロリ菌の除菌で 胃がん予防を



新治ひで子 議員

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。

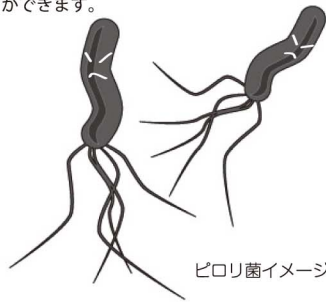
**議員** ピロリ菌は胃がんの主な要因の一つで、胃がん患者の胃から、約98%の確率で検出される。胃がんリスク検診でピロリ菌を発見、除菌すると、胃がん発生を3分の1に減らせる。胃がんリスク検診を実施し、胃がん発症を予防すべきでは。

**市長** 当面は国の指針に基づいてがん検診を実施する。

**議員** 胃がん撲滅、ピロリ菌の除菌療法の効果等の講演会開催は。

**健康福祉課長** 機会を捉えて推奨、PRに努めたい。

ピロリ菌について…  
胃の中は胃酸が出ているため、通常の菌は死んでしまいます。ピロリ菌は特殊な酵素をもっており、アンモニアを発生して、胃酸から身を守っているため、胃の中で生きることができます。



ピロリ菌イメージ

※がんリスク検診は簡単な血液検査で、胃の中のピロリ菌などの存在を検査するもので、X線検査法に比べて、負担が少なく低コスト。血液検査の結果から、ABCリスクの程度によってピロリ菌を除菌する治療や内視鏡による精密検査を受けるというもの。厚生労働省は、胃がんとの関係を重く見て、「ピロリ菌」の除菌治療を本年2月から医療保険の対象とした。

## 総合体育館の建設について



手狭な弓道場

**議員** 自然エネルギーに加え、自然光を最大限に取り入れた明るい体育館にすべきでは。

**教育長** 積極的に取り入れたい。

**議員** トレーニング用の運動器具設置後の適切な指導・管理体制は。

**教育長** 他市町村の運用状況等を参考に検討したい。

**議員** 各所に腰掛けて休憩・歓談できる場、可動式の靴入れ、行列ができない

女性トイレの数の確保、積雪を考慮した屋根の形状は。

**教育長** 要望に配慮した形で建設を進めたい。

**議員** 現在ある弓道場は、必要最低限の広さと設備しかない。「弓道場建設検討資料」の要望に沿った建設ができるのか。

**教育長** 最大限、要望に沿えるよう設計に盛り込みたい。

**議員** 武道館を2階建てとして2階を弓道場とする考えは。屋根が一つで済めば、低コストとならないか。

**生涯学習課長** 設計時に可能か、検討できるか考えたい。

## 図書館の建設等に ついて

**議員** 利用者のニーズに合う図書館として改修・整備の考えは。

**教育長** 増築やスペースの確保は困難。慎重に検討を進めたい。

**議員** 図書館と公民館等を併設した総合文化施設の建設予定構想は。

**教育長** 教育振興基本計画の中では明記されている。次の総合計画には位置づけたい。





花野やじべえ 議員

# 乙総合福祉センターの 建替えは

**議員** どのような施設を考えているか、また建設までの手順について

**市長** 乙観光物産館の敷地を含む胎内市所有地約1haの同敷地内に、木造平屋建ての福祉センターを建てたい。地域の福祉と健康増進や文化・教養の場として、地域の皆様に幅広く活用される施設を考えている。乙地区区長会等と協議を行いながら進め、協議が整い次第、早急に建設に着手する。

**議員** 乙観光物産館「どっこん水の里」のリニューアルを同時に行い、複合的な施設が考えられないか。

**市長** 新たな福祉センターの建替えは国・県等の新規補助事業を活用して実施するが、「どっこん水の里」の改修工事は対象外となる。単独事業で検討していく。



乙総合福祉センター

質問・答弁の内容 文体は本人の草稿によるものです。



どっこん水の里

## 黒川地区への 都市ガス供給拡大の 働きかけについて

た。その後旧村上市まで繋げる計画と聞いている。黒川地区から都市ガス供給の要望はあるのか。また、要望があれば事業者に働きかけていく考えはあるのか。

## 地域活性化について

**議員** このままでは、数年後人口3万人を割る、胎内市で働いている人が、家を建てるなら他市町村で聞こえてくる。市内に住宅を建てる人、及び空き家の利用等で、新たな定住に助成する制度等は考えられないか。

**市長** 一過性の助成制度よりは、医療、福祉の充実、教育や居住環境の整備など、将来にわたって生活を営む上での諸条件を整備していくかに重点を置いていく。

## 【その他の質問】

\*GIS地理情報システムの活用

\*市が管理する公園について

\*公衆トイレについて

\*中条駅西口整備事業及び街路整備事業について



ガスタンク

**議員** 都市ガス供給パイプラインが胎内市を通り、旧荒川町まで繋がっ

# 常任委員会審査

## 総務文教

### 職員との給与に関する条例の一部改正

「防災や災害対応に関する知識と経験を有する人材を防災専門員として採用するため、職務の級を定める。ワイナリーは現在民間委託しており、今後も採用予定がないため醸造技術員及び醸造主任を削除する」

**質問** なぜ任期付なのか。その後はどうするのか。すでに内定しているのか。

**答弁** 専門知識等を有する人について民間・一般人問わず採用できる。基本は3年間で、任期中の勤務成績を勘案して、その後の対応を考える。候補者は54歳の現職の自衛官。

**質問** 地域の自主防災組織の設立にも関わるのか。

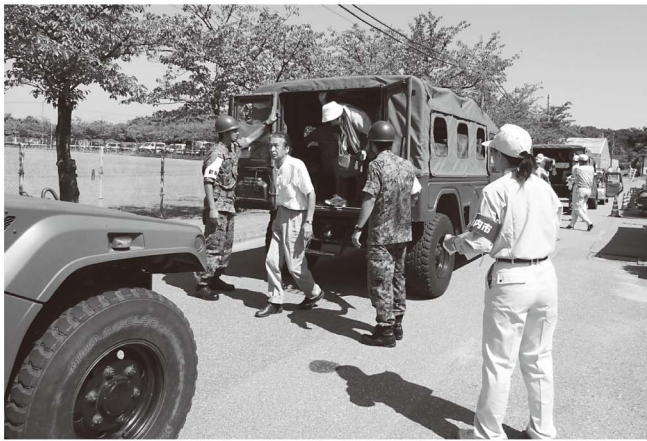
**答弁** 交通防災係が対応しているが、それを補う専門員として各訓練に参加するものと考えている。

**質問** 任期付職員は一般職と同じ勤務体系なのか。

**答弁** 臨時職とは違い、勤務体系も責任分担も身分の一般職と同じである。

**質問** 公募しなかったのはなぜか。

**答弁** 公募となれば全国対象となり、選ぶ基準も難しい。今回は地域の実態がわかる胎内市在住の方で、自衛隊新発田駐屯地とも連携を図っていきいたため、公募という形はとらなかった。



胎内市での防災訓練

## 厚生環境

### 国民健康保険事業特別会計補正予算

「24万7千円を追加し、総額を36億8,424万7千円とするもの。歳出では、人事異動に伴い人件費を減額。住民組織等による健康なまちづくり事業として研修会やイベント等に係る経費、特定検診受診率向上を図るため、在宅保健師等による訪問に係る経費を計上。歳入では、一般会計繰入金を減額し、国保連合会保険事業補助金を増額」

**質問** 市民協働で実施する健康イベントとはどんなものか。在宅保健師は何人位いるのか。

**答弁** にこ楽・胎内を拠点とした地域における健康づくりのリーダーを養成するために、研修会や交流会を行う。在宅保健師は30〜40人位。

**質問** この事業は単年度で終わりののか。

**答弁** 健康なまちづくり事業が継続の場合上限3年、特定健診受診率向上を図るための事業は1年。

### 介護保険事業特別会計補正予算

「65万8千円を追加し、総額を30億1,365万8千円とするもの。歳

出では、人事異動に伴い人件費を増額。支払基金交付金返還金を増額し、予備費を減額。歳入では、一般会計繰入金を増額。

ひとり親家庭等の医療費助成に関する条例の一部改正

「法改正に伴い、医療・薬剤に加えて、指定訪問看護事業者によって行われる訪問看護にも申請に寄らず医療費助成が受けられるようにするもの」

**質問** 指定訪問看護事業者とは。

**答弁** 基本的に医療機関ではなく訪問して看護するもの。胎内市では十二天にある中条愛広苑のみ。



中条愛広苑

# まちづくり

## 簡易水道事業特別会計補正予算

「2, 100万円を追加し、総額を2億400万円とするもの。歳出では、熱田坂地内の新宮寺橋に添架している水道管の腐食・漏水の復旧工事(全長240m)を行うため工事請負費を増額。歳入では、簡易水道事業債を増額」

**質問** 設置して40年とのことだが耐用年数にきているのか。

**答弁** 耐用年数については、昔の管の材質は40年位、新しいものは50年位と考えている。

**質問** 漏水がわかったのはいつ頃か。

**答弁** 2ヵ月位前。

**農集住宅等の譲渡に関する条例**  
「農集住宅の建物、その敷地及び周辺緑地について、対象者に無償で譲渡することを条例に定める」

**質問** 建物は老朽化が激しい。利用者は自分で壊さなければならぬことを納得しているのか。

**答弁** 104戸あって譲渡については103戸から同意を得ている。

## 市道路線の認定

「半山水尻2号線について、宅地造

成された場所において寄付採納を受けたもので、市道としての基準を満たすことから認定するもの」



農集住宅

## 閉会中所管事務調査

### 総務文教常任委員会

5月8日

新潟市【亀田総合体育館】  
阿賀野市【ささかみ体育館】を訪問し、体育館の事業費、規模、機能について視察し、委員会としての意見を生涯学習課長に報告した。

5月29日～31日

・南相馬市小高区の現地視察。今な

お原発事故が収束していない現状を聞き、除染作業が進まないもどかしさ、また、震災から時間が経つが風化させてはいけないという意識と、防災強化の重要性を改めて自覚した。

・秋田県大仙市・小中学校の学力向上の取組みについて視察。学校、家庭、地域のつながりを重視し、さらに問題が起こった場合、徹底的に検証を行い、問題点を解決して次につなげる「問題を先送りしない」姿勢に感心し、参考にしたいと感じた。

・秋田県美郷町【美郷総合体育館】バレーボールコート3面の規模を有する体育館で、利用状況、利用形態について研修した。(文責 薄田)



亀田総合体育館視察風景

の里】保健福祉施設【にこ楽・胎内】の現地調査。

「胎内まごころの里」は、昨年10月に旧築地小学校グラウンド跡地に開設した地域密着型特別養護老人ホームで、定員29名。9～10名を1つの生活単位(ユニット)として、居室・食堂・キッチンなどを備えたユニットケアを提供し利用者一人ひとりの生活を重視し、自分らしく暮らすことを支援する施設である。「にこ楽・胎内」は、保健福祉施設として、4月27日に旧胎内保育園を耐震改修しオープンした。語らいや、料理教室などを行う「憩と交流ゾーン」、疾病予防や健康づくりなどを実施する「病氣予防・健康増進ゾーン」、趣味の仲間が集い、研究と活動を展開する「生きがいづくり自主活動支援ゾーン」、子どもが遊べるオープンスペースとしての「子ども応援ゾーン」の4つの機能がある。当委員会では、今後ますます進む高齢化に対し、先を見据え、高齢者が明るく、楽しく生活できる施設の充実が必要と確認した。

(文責 松浦)

今回、産業観光常任委員会の審査は、ありませんでした。

## 厚生環境常任委員会

4月10日

特別養護老人ホーム【胎内まごころ

## 開かれた議会を目指して

## 第一回 市民と議会の意見交換会

胎内市議会では議会基本条例を制定し、市民と共に歩む議会を目指し、5月23日に産業文化会館、黒川地区公民館、築地農村環境改善センター、乙総合福祉センターの4会場で22名の参加をいただき意見交換会を開催いたしました。

## 議会と市民の意見交換会での主な質疑や意見等

項 目	質 問 事 項
主 要 事 業	・ 総合体育館は予算もあるが、無理してもいいものを作ってほしい。
	・ 築地地区では、中条駅西口の完成を望む声が多い。希望をかなえてほしい。
	・ 2,400人の乗降客で、17億円をかけて人口増で市が潤うならいいが、人口増は見込めない現状では、費用対効果がない。もっと議論すべきでは。
	・ 中条駅西口周辺の活性化に取り組むためと思うが、駅西口開発プランはあるのか、どのような利益があるのか。
	・ 未確定要素（駅舎構想）を含む予算を可決する議会の意義について。常識では中身があつての予算なので金額先行は順序が逆。付帯決議の方法もあつたのでは。
松くい虫対策について	・ 間伐、下草刈等、総合的な判断から育てる必要があるが、今後の計画は。行政と市民が一体となって動く必要があると思うが。
意見交換会	・ よくここまでやった。しかし年一回と決めたのはなぜか。
議会だより他	・ 議会報モニター制度は条例もあるのになぜやめたのか。
雇用企業誘致	・ 工業団地は各地にある。企業誘致をして雇用の場をつくってほしい。
介護高齢化対策について	・ 特養等、施設を造るより在宅介護、在宅福祉に力を、在宅で安心して住める環境づくりを、タッグホルダー・ペンダント等県内での取り組みはめずらしいのではないか。
人口減少対策	・ 人口減少について、27年間で胎内市の人口は1万人減少すると予想されている。多くのところで影響、市の財政にも及ぶ。減少防止のシステム作りが必要。
黒川地域審議会	・ 黒川地域審議会を毎回傍聴しているが、私1人しかいない。形骸化している感がしている。内容も議事録も公表されていないので、黒川地区に伝わっていない。その点から考えていく必要がある。
リゾート関連	・ 本年市長が初めて胎内野鳥の会の会長になり、6月15日に探鳥会が開催される。参加者名簿を見ると、議員や市職員が参加していない。県外からかなりの人が来ているので、旧中条町の人を含め参加願いたい。
	・ ロイヤルへどんな立派な経営者を連れてきたり、コンサルタントを頼んでも、地元の住民がリゾートを盛り上げなければ成功しない。地元の方がどれだけ盛りたてるのかが肝心だと思うが。
農集排関連	・ 胎内川の上流はきれいだが、夏井の頭首工より下流は汚れている。胎内市の名前と一緒に胎内川があるのだから、きれいにしなければならない。
そ の 他	・ 区では収入が年々減っている。市の予算も同じと思われる。どの事業が必要か、市としてやるべき事業を精査、整理して、少ない予算を有効に執行されるようにしっかりやってもらいたい。

**来場者のアンケートによるご意見（次回開催にあたって）**

- 市民に対する周知の方法を工夫し多く集まるよう努力が必要。
- テーマを絞ったやり方もあるのでは。
- 予算・決算審議後の年2回は開催をすべき。
- 議会にも市民が随時質問・意見ができる窓口を設けては。

等の御意見を頂くと共に意見交換会開催に対しましては高く評価頂きました。次回開催にむけ参考にさせていただきます。  
 なお、すべての内容は胎内市議会ホームページに掲載してあります。



意見交換会

**平成24年度  
 会派別政務活動費収支結果報告**

H24年4月1日～25年3月31日

(単位：円)

科 目	政務活動費の内訳	政和会 6名	緑風会 3名	志政会 3名	自民クラブ 2名	日本共産党 1名	公明党 1名	無所属クラブ	(無 所 属)
収 入	2,160,000	720,000	360,000	360,000	240,000	120,000	120,000	120,000	120,000
補 助 金 出 内 支 出	2,141,017	720,000	360,000	360,000	240,000	120,000	120,000	101,017	120,000
返 還 金	18,983	0	0	0	0	0	0	18,983	0
支 出	2,166,988	726,244	362,990	367,022	246,123	120,536	122,007	101,017	121,049
研究研修費	216,610	71,200	109,810	0	0	0	35,600	0	0
調査旅費	1,454,438	470,414	211,380	260,064	192,215	70,972	70,972	81,972	96,449
資料作成費	21,325	3,680	0	0	0	0	5,040	12,605	0
資料購入費	235,437	0	41,800	106,958	20,680	39,564	10,395	6,440	9,600
広 報 費	239,178	180,950	0	0	33,228	10,000	0	0	15,000
広 聴 費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人 件 費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事 務 所 費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会 員 名	会 長	富 樫 誠	松 井 恒 雄	桐 生 清 太 郎	渡 辺 俊	丸 山 孝 博	新 治 ひ で 子	赤 塚 タ イ	高 橋 政 実
	副 会 長	八 幡 行 雄	渡 辺 宏 行						
	幹 事 長	森 田 幸 衛	薄 田 智	菅 原 市 永	松 浦 富 士 夫				
	会 計	天 木 義 人		小 林 兼 由					
	会 員	花 野 矢 次 兵 衛							
	会 員	佐 藤 秀 夫							



4月

10日 厚生環境常任委員会閉会中調査  
(介護保険施設及び福祉施設の状況について)  
にこ楽・胎内、胎内まごころの里

5月

8日 総務文教常任委員会閉会中調査  
(望ましい総合体育館建設に向けて、近隣市の現況等を調査)  
新潟市亀田総合体育館、阿賀野市ささかみ体育館

29日～31日 総務文教常任委員会行政視察  
(防災及び総合体育館の状況について)  
福島県南相馬市、秋田県大仙市、秋田県美郷町

7月

1日～2日 議会運営委員会行政視察  
(議会基本条例及び議会運営全般について、タブレット端末導入について)  
埼玉県飯能市、鶴ヶ島市

### 今後の予定

9月

5日～6日 議会報編集特別委員会行政視察  
(議会だよりの編集について)  
福島県広野町

11月

5日～7日 厚生環境常任委員会行政視察  
(こども園について、ごみの減量化・資源化について)  
神奈川県逗子市、千葉県習志野市



中条小学校 六年生

中村 芙歌 さんの作品です。



中条小は、ボランティアの方々の支えがあり、あいさつが響き、学年・クラス関係なく仲良く遊べる学校です。



### 編集後記

猛暑の夏、市民の皆様におかれましては、体調を崩されませんよう御自愛ください。  
合併特例債の限度額約81億円を活用した、新市建設計画に搭載された主要施設事業も、総合体育館建設事業、西口駅整備事業等を残すのみとなりました。特に西口駅構想は、市

「議会だより」モニター募集  
議会では、皆さんの意見や提言を聞かせていただくために「議会だより」のモニターを募集しております。中学生以上の方であればごなたでも結構です。詳細は議会事務局までお問い合わせください。  
お問い合わせ先  
TEL 43-6111(内線1411)  
FAX 44-7875

### 訂正とお詫び

議会だよりNo.34の一般質問の記事中赤塚タイ議員の「柔道必修化について」は「武道必修化について」の誤りでした。訂正しておわび申し上げます。

議会報編集委員

- 委員長 富樫 誠
- 副委員長 八幡 行雄
- 委員 小林 兼由
- 委員 菅原 市永
- 委員 森田 幸衛

民生活や経済情勢に影響を及ぼすことから駅舎の構造、事業費の問題で調整（JR&執行者）の段階であると認識いたしており、市の将来を見据え議会でも慎重審議したい。第1回の議会と市民の意見交換会が5月23日4会場で開催いたしました。出席して頂いた22名の市民の方々に厚く御礼申し上げますと共にアンケート集計に頂いた貴重な御意見を次回の交換会にいかし、多くの市民が参加いただけるよう、創意工夫をし、市民参加による市政確立をめざし努力していかねればと痛感いたしております。  
これからも議会報のご愛読をよろしくお願い申し上げます。(菅原市永)

平成25年8月12日 発行責任者 議長 渡辺宏行

FAX (0254) 4316111 (0254) 4417875

〒959-2693 新潟県胎内市新和町2番10号

印刷/株式会社エンジユ